

# I. 調査の概要

## 1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より4年ごとに実施してきましたが、総合振興計画の進捗管理と合わせるため、前回調査から2年ごとに実施しています。

これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉えその時代に合った市政運営に生かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するためには、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなります。

## 2. 調査設計

- ① 調査対象地域：戸田市全域
- ② 調査対象：令和7年4月1日現在において、市内に在住する満 18 歳以上の市民
- ③ 標 本 数：3,000 人（男女各 1,500 人）
- ④ 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送による配布・回収及び Web による回答
- ⑥ 調査期間：令和7年5月1日（木）～令和7年5月30日（金）

## 3. 回収状況

- ① 配 布 数：3,000 人
- ② 有効回答数：1,204 人（郵送回答：712 人 Web 回答：492 人）
- ③ 回 収 率：40.1%

## 4. 調査の内容

- |         |           |            |
|---------|-----------|------------|
| ①回答者の属性 | ②定住意向     | ③結婚・出産     |
| ④子育て    | ⑤健康づくり    | ⑥高齢化等の福祉   |
| ⑦生活環境   | ⑧地域コミュニティ | ⑨生涯学習やスポーツ |
| ⑩市政への参加 | ⑪SDGs の取組 | ⑫戸田市の取組    |

## 5. 報告書の見方

- ① 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位まで表示しています。  
従って合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が100.0%を超える場合があります。
- ② 本文図表及び集計表のnは回答者数を表しています。設問ごとに回答者数（n）を基数として比率を算出しています。
- ③ 本文図表においては、回答選択肢の表示は適宜語句を簡略化している場合があります。

## 6. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準95%の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N=母集団の数（戸田市の18歳以上人口119,654人、令和7年4月1日現在の住民基本台帳人口）

n=各設問の回答数 P=各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数(人)	10 (または90)	20 (または80)	30 (または70)	40 (または60)	50
1,204	±1.69	±2.25	±2.58	±2.75	±2.81
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
500	±2.62	±3.49	±4.00	±4.27	±4.36
300	±3.38	±4.50	±5.16	±5.52	±5.63
200	±4.14	±5.52	±6.32	±6.76	±6.89
100	±5.85	±7.80	±8.94	±9.55	±9.75

〈この表の見方〉

・例えば、問3で「戸田市に住んでいる理由」について、「ここで育ったから」と回答した方が21.9%（n=1,204）の場合、上表で値の近い「20（または80）」の欄の「1,204」の行をみると、標本誤差は±2.25%となります。したがって、本市の18歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、21.9%±2.25%（19.65%～24.15%）の人が「ここで育ったから」と回答する確率（信頼水準）が95%である、と見ることができます。

## 7. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区（喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目）
2. 下戸田2地区（喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目）
3. 上戸田1地区（上戸田1～5丁目、大字上戸田）
4. 上戸田2地区（川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目）
7. 美女木地区（美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、美女木北1～3丁目）

注：戸田市オープンデータ・統計では、大字下笹目は笹目地区に入っていますが、他計画との整合のため、新曽地区に入れています。

